

Collection 1

～デンマーク王立図書館 所蔵コレクション～



DET KONGELIGE BIBLIOTEK

収録年代: 1482年-1672年 収録数: 約2,600点(約50万ページ)

出版国: デンマーク、ドイツ、スイス、フランス、スウェーデンなど14か国

記述言語: 主にデンマーク語、ラテン語、ドイツ語 提供元: デンマーク王立図書館

主な収録分野: 天文学、宗教革命、デンマーク史

～コレクション1の主な収録内容と著者～

【宗教 — 宗教改革、聖書、祈祷書—】

- マルティン・ルターを始め、その協力者で「ドイツの師傅」と呼ばれるメランヒトン (1497-1560)、「北方の第二の伝道者」Johann Bugenhagen (1485-1558)および、デンマークの宗教改革者 Hans Tausen (1494-1561)、ニルス・ヘミングセン(1513-1600)らの著作や、カトリック側の Poul Helgesen が訳したエラスムスの著作
- 聖書、ミサ典礼書、祈祷書など (図1)

【天文学】

- 近代天文学の祖ケプラー(1571-1630)
- ケプラーの先駆者で、望遠鏡以前の最大の観測者といわれるデンマークの天文学者ティコ・ブラーエ(Tycho Brahe, 1546-1601) (図2)

【古典古代】デモステネス、キケロ、リウイウスなど

【デンマーク史】

- 中世デンマークの神話と伝説、歴史を記した Saxo Grammaticus の大著『デンマーク史』の複数の版(図3)
- 『オーゼンセの聖務日課書』『Breviarium Ottoniense』(1482)、初めてデンマーク語で印刷された書である叙事詩”Den danske Rimkrønike”(1495, 図4)など、デンマークの最初期の印刷物
- 人文主義者 Christiern Pedersen (ca.1480-1554)ら、デンマークの知識人



①デンマーク語訳
聖書(1524)



②ティコ・ブラーエ
の著書



③『デンマーク史』



④デンマーク語の
最初の印刷書

Collection 2 ～フィレンツェ国立中央図書館 所蔵コレクション～



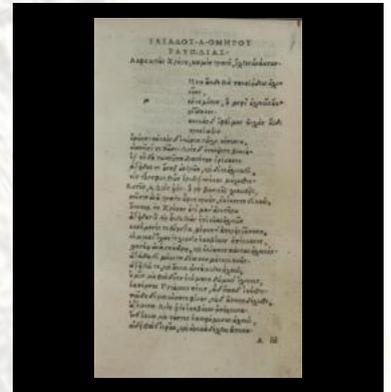
収録年代：1466年-1500年 収録数：約2,700点
出版国：主にイタリア 記述言語：主にイタリア語、ラテン語
提供元：フィレンツェ国立中央図書館
主な収録分野：古典古代、イタリア・ルネサンス、聖史劇

歴史的、書誌学的に重要な4つのコレクションに焦点をあてて収録します。

The Nencini Aldine collection アルドウス出版

アルドウス出版 (Aldine Press) により印刷された約 1,000 点を収録します。アルドウス出版はギリシア古典学者でもあったアルドウス・マルティウス (Aldus Manutius) が 1495 年にヴェネツィアで興し、ギリシアの研究者、編集者、植字工の協力を得て「ポケット古典」を作製、ルネサンス期における古典の普及に中心的な役割を果たしました。また、イタリック体の作成、小型で持ち運びやすいハツ折り判のサイズの採用等により、印刷本の初期の歴史における最も重要な機関の1つとされています。

(右図)『イーリアス』(1504)



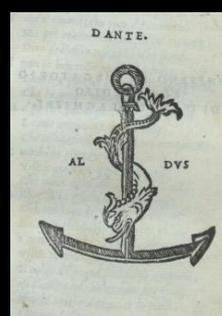
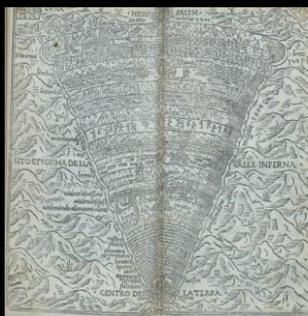
～主な収録内容と著者～

【古典古代】 ホメロス、ソフォクレス、アリストテレス、ウェルギリウス、ホラティウス、オウィディウスら主要な文筆家

【人文主義】

- ・ ダンテ『神曲』の初めてのポータブル版。アルドウス出版のテキストは、19世紀後半まで標準的な版となった。第二版(1515)では、有名な地獄の層を描いた木版挿絵を初めて掲載した。(下図)
- ・ 作家、外交官カスティリオーネ著『廷臣論』“*Il libro del cortegiano*”(1528)
- ・ 政治思想家マキャベツリ
- ・ 17世紀に西欧で流行した「エンブレム・ブック」の先駆けとなった、法律家・人文主義者アンドレア・アルチャーティ(1492-1550)の“*Emblematum libellus*”。象徴的図版を銘や解説とともに掲載する。(下図)

【宗教】 1564年のトリエント公会議の文書など、カトリック教会史における数多くの重要なテキスト



図版左より
・ダンテ『神曲』(1515)
・アルチャーティのエンブレム・ブック(1546)
・アルドウス出版の商標、錨とイルカ

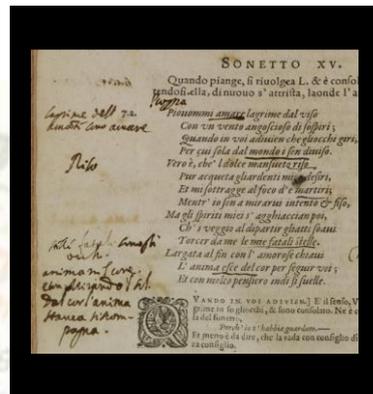
Marignalia 手書き注

16-17 世紀の 80 以上の巻を収録しており、「欄外の注」「postillati」に対する重要性において認められてきたコレクションです。ガリレオ・ガリレイ所蔵のユークリッド、ペトルカなどの著作では、広範囲に及ぶガリレオの手書きの欄外注を読むことができます。

(右図)カステルヴェートロの解説付きのペトルカの詩集(1582)に、ガリレオ・ガリレイが書き入れたメモ

～手書きの注が保存されている主な人物～

- ミケランジェロの甥、作家 Michelangelo Buonarroti the Younger
- 文芸理論家ルドヴィーコ・カステルヴェートロ (1505-1571)
- バロックの詩人・文芸理論家 タッソーニ(1565-1635)
- 数学者、科学者 Vincenzo Viviani (1622-1703)



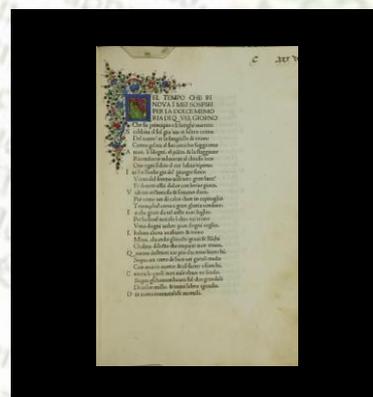
Renaissance Collection ルネサンス

文学、哲学、神学、美術史等の各分野において、イタリア・ルネサンスの中心をなすテキストをほぼすべて網羅する約 1,200 点のコレクションです。

～主な収録内容と著者～

ダンテ、ペトルカ、ボッカッチョの著作の初版、フィレンツェの君主で詩人でもあったロレンツォ・デ・メディチ、建築家レオン・バティスタ・アルベルティ、詩人ピエトロ・ベンボ、芸術理論家バルディヌッチら、フィレンツェで活動した人文主義者、ドミニコ会修道士サヴォナローラ(下図)の多くの著作

(右図)ペトルカ『カンツォニエーレ・凱旋』合本(1472)



Sacred Representations 聖史劇

16-17 世紀における 600 以上の“sacre rappresentazioni” (聖史劇) を収録します。聖史劇は聖書の場面、聖者の生涯やキリスト伝説を演じる大衆的な韻文劇で、もともとフィレンツェやトスカナのその他の地方で上演され、イタリアの劇場の基礎を成したとみなされています。

テキストの多くは作者不明ですが、作者が記されているものには、ロレンツォ・デ・メディチの“*Rappresentazione di San Giovanni e Paolo*” (右図、1507)、詩人カステラーノ・カステリーニ(ca. 1461—1519)の“*Figliuol prodigo*” (下図)が含まれます。



図版左より

・サヴォナローラの著作(1496)

教会での説教の図

・カステラーノ・カステリーニによる聖史劇

Collection 3

～イギリス ウェルカム図書館、オランダ国立図書館ほか 2 館 所蔵コレクション～



KB Koninklijke Bibliotheek
Nationale bibliotheek van Nederland

収録年代：1465年-1700年 収録数：約10,200点（約300万ページ）

出版国：オランダ、イタリア、ドイツ、フランス、スイス、ベルギー、デンマークなど20か国以上

記述言語：ラテン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、ドイツ語など18言語以上

提供元：英ウェルカム図書館、オランダ国立図書館、フィレンツェ国立中央図書館、デンマーク王立図書館

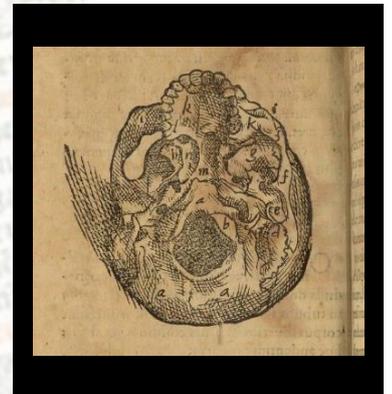
主な収録分野：諸科学、文芸、地理的拡大、宗教など、きわめて広い分野を網羅します。

コレクション3に資料を提供する図書館

イギリス ウェルカム図書館 Wellcome Library

医学とその周辺分野の膨大なコレクションで知られる Wellcome Library から、古代から近世の医学に関する貴重な史料を提供します。医学史に名を残す偉大な著作のみならず、民間療法や錬金術に関する珍書の類も含まれます。医学のほかにも化学、薬学、博物学、地誌など、広範な分野の興味深い稀覯書が提供され、近代にいたる科学の発展の歴史を見ることができます。

(右図) 画期的な挿図入りの解剖学書“*Historia plerarunque*” (1585)

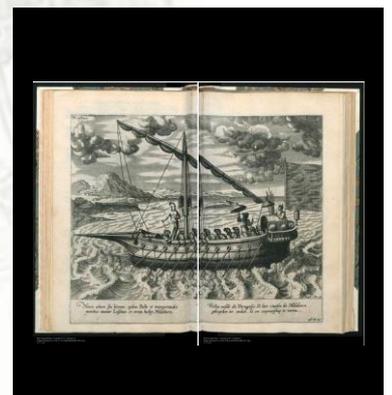


オランダ国立図書館 Koninklijke Bibliotheek

最初期の印刷物に始まり、独立戦争を経て商業・軍事・文化の黄金期にいたる15-17世紀のオランダの刊行物を提供します。

17世紀に、オランダはその宗教的寛容によりヨーロッパでもっとも先鋭的かつ国際的な出版活動の場となりました。エルゼビア出版(1583-)をはじめとする出版元によるオランダの刊行物コレクションは、当時のヨーロッパの知的活動の最先端を示すものです。

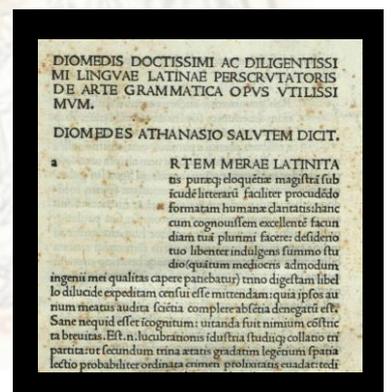
(右図) オランダの東方進出に影響を与えた航海家リンスホーテンの世界旅行記(ca.1600)



フィレンツェ国立中央図書館・デンマーク王立図書館

コレクション1・2で登場した2館から更に稀覯書が追加されます。イタリア文学および宗教関連の史料や、古典の初期の版の卓越したコレクション、凝った装丁・挿図の美本に加えて、15世紀に印刷業の先駆者となったニュルンベルクなどのドイツ語圏の町や、ローマン体のデザインで知られるヴェネツィアの印刷出版業者、ジェンソンの初期の貴重な出版物を提供します。

(右図)ジェンソンの印刷物(1475)



～コレクション3の主な収録内容と著者～

【医学 ー古代、イスラム、解剖学、薬草学ー】

- 四体液説で知られるヒポクラテス (ca.BC460-BC370)、長く医学の権威であったガレノス (ca.129-199)、トラレスのアレクサンドロスなど、古代の医学者
- イブン・シーナー(アビセンナ、980-1037)、イブン・ズフル (アベンゾアール、1113?—1162)、イブン・ルシュド (アヴェロエス、1126-1198) (図1) ら、中世ヨーロッパに大きな影響を及ぼしたイスラムの哲学者・医学者
- 16世紀の薬草学の書“*Medicinarius*” (Strassburg,1509) (図2)
- カスパー・バルトリン(1585-1629)、外科器機の発明改良で知られる外科医ファブリキウス (1560-1634)、スイスの解剖学者バウヒン(1560-1624) (図3) ら、近世の医師の著作

【科学ー天文学、植物学、動物学、物理学ー】

- 洋上での位置推算法により大航海時代の進展に寄与し、またヨーロッパ最初の天文台を建設した天文学者レギオモンタヌス (1436-1476)
- ガリレオ・ガリレイの“*Dialogus de systemate mundi*” (1635)
- ルネサンス期ドイツの鉱山学者アグリコラ(1494-1555) による、金属についての最初の技術書『デ・レ・メタリカ』“*De Re Metallica*” (1556)
- スイスの博物学者コンラート・ゲスナー(1516-1565)
- 発生学の祖アルドロバンディ(1522-1605)による、実在の動植物と想像の生物が混在する書 (図4)
- のちに野呂元丈が著作を日本語訳したフランドルのレンベルト・ドドエンス(1517-1585) 、イタリアのアンドレア・チェザルピーノ (1519—1603)、ドイツのレオンハルト・フックス(1501-1566) (図5) ら植物学者
- 哲学、数学、物理学、言語学、歴史など多方面にわたって活躍したドイツの思想家ラプニッツ (図6)
- 土星の環の発見など多岐にわたる業績をものした物理学者ホイヘンス
- 薬学、測量などに関する技術書 など



- ①イブン・ルシュドらイスラム医学者の著作の合本(1595)
- ②③“*Medicinarius*” (1509)とバウヒンの解剖図
- ④アルドロバンディの動物誌
- ⑤フックスの植物誌
- ⑥ライプニッツの学位論文(1666)
- ⑦1577年の大彗星の記録(1577)

【地理的拡大】

ーアメリカ大陸ー

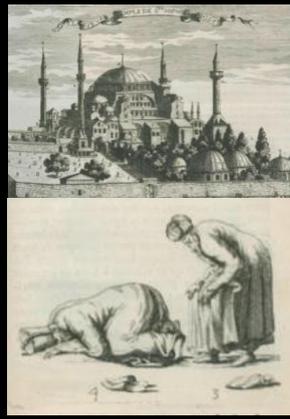
- ・ 『インディアスの破壊についての簡潔な報告』の著者バルトロメ・デ・ラス＝カサス(1484-1566)
- ・ アステカ王国を征服したスペイン人コルテスの書記官、Francisco López de Gómara (1511-1564)
- ・ スペイン兵としてペルーに渡り、チャルカス、クスコを旅してインカ帝国に関する信憑性の高い記述を残したペドロ・デ・シエサ＝デ＝レオン (1521-1554)
- ・ ブラジルに渡り、民族学的記述をなした Jean de Léry (1534-1611)
- ・ イエズス会宣教師として 16 年間南米に滞在したアコスタ (José de Acosta, 1540-1600) によるペルーとメキシコの地誌
- ・ 医師、自然科学者 Willem Piso によるアメリカ大陸の博物誌“*Historia natvralis Brasiliae*” (1648)

ー中近東、アジア、アフリカー

- ・ 全世界でのポルトガル人の征服・航海・交易を記したジョアン・デ・バーロス(1496-1570)の『アジア』
- ・ マルコ・ポーロ『東方見聞録』
- ・ “India Orientalis”、モザンビーク地図などを収録する。(1601)
- ・ 数世紀にわたってヨーロッパにおける北アフリカの知識の主要な源となった、レオ・アフリカヌス (ca.1485-1554)の“*Historiale description de l'Afrique*” (1556)
- ・ Bartolommeo da il Sonetti の手になるエーゲ海諸島の彩色地図(1485)
- ・ 17世紀に主にアムステルダムで出版された多数の地誌 (下図)

【オランダ史】

- ・ オランダ最初の出版物 “*Delft Bible*” (1477)
- ・ オランダ独立運動の指導者オラニエ公ウィレムが発行したフランス語のパンフレット
- ・ 古典文献学者ユストゥス・リップシウス(Joost Lips, 1547-1606)、法学者グロティウス(1583-1645)、人文主義者 Gerhard Johann Voss (1577-1649)ら、オランダの黄金期を代表する学者、思想家



左より

- ・ アメリカ大陸の博物誌 (1648)
- ・ 『アメリカ大陸誌』(1697)
- ・ 『新・コンスタンティノープル旅行記』(パリ、1680)



ダマスカス眺望 『シリアとパレスティナ』(1677)



『スリランカ』(1672)



『タイ旅行記』(1687)



ラサ眺望 『中国の記録』(1667)

【宗教・信仰 —民衆の信仰、聖書、祈祷書—】

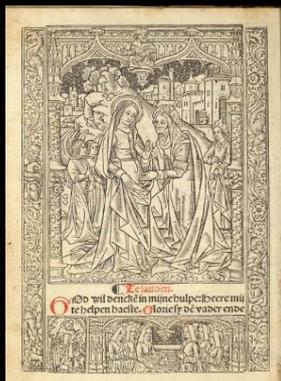
- 各国語の聖書、ミサ典礼書、祈祷書など (図 8~図 10)
- 聖人の生涯や奇跡、行事にまつわる物語を想像力豊かに伝説化して編纂し、中世にもっとも読まれた本の一つ、『黄金伝説』“*Legenda Aurea*” (図 11 は 1484 年刊行の版)
- カトリックの教義の簡単な解説、暦や占星術、民間療法など一般の人々に役立つ情報をまとめ、16 世紀に広く流布した『羊飼いの暦と計算法』“*Compost et kalendrier des bergiers*” (図 12 は 1496-97 年刊行の版)
- 古代の聖譚や逸話を集めて広く読まれた『ローマ人行状記』“*Gesta Romanorum*” (図 13 は 1474 年刊行の版)
- Alexis of Piedmont の病気の治療や香料・染料についての概要本“*Book of Secrets*”(1555)。非常な人気を博したが、その中には赤犬の死骸で痛風の治療薬を作るといった魔術めいたものも含まれている。
- フランスの思想家で魔女撲滅論者のジャン・ボダン(ca.1530-1596) が著し、以後何百年も魔女裁判官の座右の書とされた『魔女論』 (1593)

【神学・哲学・神秘主義 —初期キリスト教、中世神学、ユダヤ教、錬金術、宗教改革—】

- 聖アウグスティヌス(354-430)、レオ 1 世(ca.400-461)、聖グレゴリウス 1 世(ca.540-604)ら、初期キリスト教教父と歴代教皇
- 神秘主義神学者の聖ベルナルド(ca.1090-1153)、ユダヤ教世界における指導的人物であったマイモニデス(1135-1204)、「万学の博士」と称されたアルベルトゥス・マグヌス(ca.1193-1280)、トマス・アキナス(ca.1225-1274)ら、中世の神学者
- プロテスタントの説教やパンフレット、カトリック教会による反宗教改革に関わる刊行物
- エラスムス、デカルト、スピノザら著名な神学者・哲学者
- クレルヴォーの聖ベルナルド(1090-1153)、カタルーニャの神秘思想家ルルス(ca.1232-1316)、医師・神秘思想家アグリッパ・フォン・ネットスハイム(ca.1486-1535)、スイスの医師・錬金術師パラケルスス(1493-1541)、ルネサンス期で最も広く知られた予言者でもあったノストラダムス(1503-1566)、熱烈な支持を受けるいっぽう、教会からは異端視されたドイツの神秘思想家ヤーコプ・ベーメ (1575-1624)ら、著名な神秘主義者
- 紀元前 3~後 3 世紀ごろにエジプトで書かれ、15 世紀にコジモ・デ・メディチがラテン語訳をさせて大流行した『ヘルメス文書』。哲学、医学、占星術、錬金術、魔術などを論じる。(図 14、初版)



8



9



10



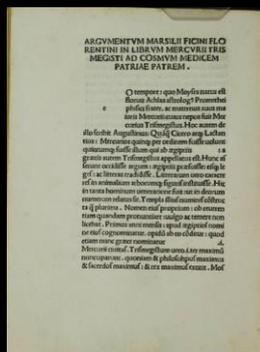
11



12



13



14

⑧ラテン語訳聖書(1480)

⑨美しい印刷・造本で知られるパリの

T. ケルヴェール印刷の時祈祷書(1500)

⑩時祈祷書に表された死の図像(1495)

⑪『黄金伝説』(1484)

⑫『羊飼いの暦と計算法』(1496-97)

⑬『ローマ人行状記』(1474)

⑭ラテン語訳『ヘルメス文書』(1481)

【文芸 ー古典古代、中世、ルネサンスー】

- 古典古代の文筆家 ーアリストテレス、プラトン、イソップ (図 15)、オウィディウス、ウェルギリウス、ユリウス・カエサル、キケロ、プルタルコス、セネカ、伝記作家スエトニウス、天文学者プトレマイオス、博物学者プリニウスなどーの様々な版
- アレクサンドロス大王を主役に、史実と創作を交えて多数のバリエーションが刊行された『アレクサンドロス物語』“Historia Alexandri Magni” (図 16 は 1474 年刊行の版)
- ボッカッチョ (図 17)、ペトラルカ、建築家レオン・バティスタ・アルベルティ、喜劇詩人ルイージ・プルチ (1432-1484)ら、イタリアの人文主義者
- 哲学者フィチーノ (Marsilio Ficino, 1433-1499)、ダンテ解釈で知られるランディーノ (Cristoforo Landino, 1424-1504)、詩人・文献学者ポリツィアーノ (Angelo Poliziano, 1454-1494) (図 18) ーら、メディチ家の文芸サークルに属した人文主義者
- コジモ・デ・メディチの命でフィチーノがラテン語訳して広く読まれた古代の著作ー初のラテン語訳プラトン全集(1484) (図 19)、古代の迷信についての貴重な資料であるイアンブリコス『エジプト秘儀論』など
- スペイン中世末期の詩人ファン・デ・メナ (Juan de Mena, 1411-1456)
- フランス初期人文主義の指導者ロベール・ガガン (Robert Gaguin, 1433-1501)
- オランダ・ルネサンスを代表する劇作家ホーフト (1581-1647) 、フォンデル (1587-1679)、人文主義者ヘリット・フォス (1577-1649)ら
- あらゆる階層を批判して一世を風靡したブラントの風刺詩『愚者の船』(1635) (図 20)



15



16



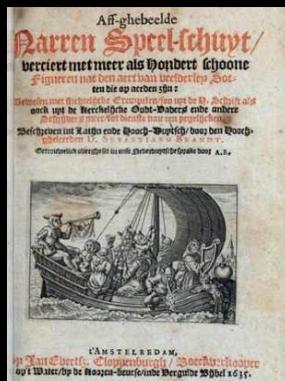
17



18



19



20



21

- ⑮イソップ物語(1479) ⑯アレクサンドロス物語』(1474)
- ⑰ボッカッチョ『デカメロン』(1483) ⑱ポリツィアーノ『ジュリアーノ・デ・メディチの馬上槍試合のための詩』(1500)
- ⑲ラテン語訳プラトン全集(1484) ⑳ブラント『愚者の船』(1635)
- ㉑イリアスのパロディ『蛙鼠合戦』(1691)。闘志を燃やして睨み合う蛙と鼠の両軍、天上で協議するゼウスとアテナ

【その他】

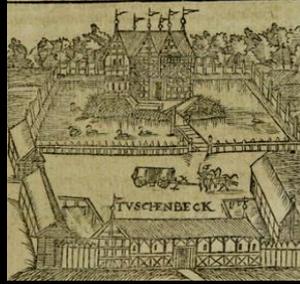
- 王侯から人夫まで当時のあらゆる職種を描いた Jöst Amman の木版連作 (1568) (図 22)
- 観相学・手相術の図解本 (1536) (図 23)
- 人文主義のパトロンとして広く活動したデンマークの貴族 Rantzau が、自作の詩とともに自領の城館・記念碑を記録させた書(1591) (図 24)
- エジプトのヒエログリフを寓意として解釈した 5 世紀の奇書、ホラポロン『ヒエログリュピカ』(図 25)
- 怪物、奇形、災害、奇跡譚を集めた Pierre Boaistuau の“Histoires prodigieuses”(1568)
- フランス料理の基礎を築いた料理人 Varenne (1618-1678) の料理本
- アラビア語からフランス語に翻訳されたコーラン、“L'Alcoran de Mahomet”(1649)



22



23



24



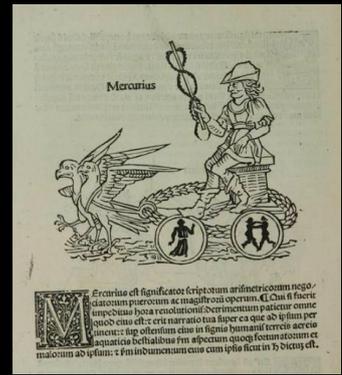
25



26



27



28



29

- ② 革職人を描いた木版(1568)
- ③ 観相学の書 (1536)
- ④ Rantzau の城館 (1591)
- ⑤ ホラポロン『ヒエログリュピカ』
- ⑥ 17 世紀のパリ市街の眺望(1666)
- ⑦ ラテン語で書かれたアラビア語文法書(1592)
- ⑧ アブー・マーシャルの占星術書 (1488)
- ⑨ 絵画やカリグラフィの見本帳(いずれも 17 世紀)

Collection 4 ～フランス国立図書館ほか 4 館所蔵コレクション～

収録年代：1471年-1700年 収録数：約9,200点（約300万ページ）

出版国：オランダ、イタリア、デンマーク、ドイツ、フランス、スイス、スペインなど23か国以上

記述言語：ラテン語、オランダ語、デンマーク語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、
古典ギリシア語など23言語以上（ラテン語は全体の約3割）

提供元：英ウェルカム図書館、オランダ国立図書館、フィレンツェ国立中央図書館、デンマーク王立図書館、フランス国立図書館

おもな収録分野：諸科学・文芸、地理的拡大、信仰・宗教など、きわめて広い分野を網羅します。

本コレクションより、フランス国立図書館の提供するフランス語の豊かな資料が加わります。

コレクション4に資料を提供する図書館

フランス国立図書館

初期の仏語訳聖書や教父たちの著作の多数の翻訳・異版をはじめ、エラスムス以降のフランスの人文主義、また当時の大衆の信仰生活を明らかにする資料や、法律・政治に関する書籍を多く提供します。1502年から5代にわたって出版印刷業を営み、王家とも繋がりの深かったエティエンヌ一族の出版物や、パリに次ぐ出版の拠点となり、人文主義的、プロテスタント的な出版活動の盛んだったリヨンの出版者の書籍も収録します。

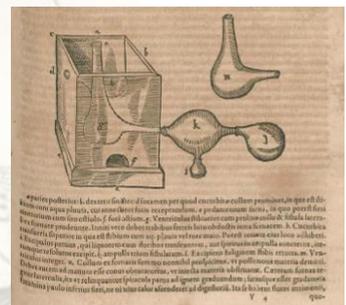
（右図）ルイ14世治世下に出版された、王権を太陽に例えて称賛する書(1672)



イギリス ウェルカム図書館

医学とその周辺分野の膨大なコレクションで知られる Wellcome Library から、古代から近世の自然科学、とりわけ医学に関する貴重な史料を提供します。ヒポクラテス、ガレノス、アイギナのパウロスら古代の医学者の著作からはじまって、近世の解剖学や薬学の書までを網羅する、医学の展開を示す貴重な資料群です。また、旅行記や一般に広く流布した書も提供します。

（右図）ドイツの化学者、医師で、化学実験用のガラス器具や実験プランなど、
医薬の精製に関する知識をまとめたリバビウス(1540?-1616)の書



オランダ国立図書館

コレクション3に引き続き、オランダが広く世界へと進出した17世紀、主にアムステルダムで出版された多数の地誌を提供します。日本を含むアジア、中近東、アフリカに関する、当時の最新の知見を明らかにします。また、全欧で読まれた書の翻訳版や、法律書も提供します。

（右図）『モンタヌス日本誌』（1669）



フィレンツェ国立中央図書館・デンマーク王立図書館

先行するコレクションに続き、ルネサンス期のコレクションや、宗教革命に関する貴重な書籍を提供します。

（右図）オウィディウス『変身譚』（1555）



～コレクション4の収録内容と著者(例)～

【宗教・信仰 ー民衆の信仰、聖書、祈禱書ー】

- 各国語の聖書、典礼書、祈禱書など
- 最初期のフランス語訳聖書 Protestant Bible
- クリスマスなどの祝祭、結婚式、葬式、祈りや断食の儀式、施しといった、当時の宗教生活を明らかにする出版物
- 翻訳を重ねて広く流布した15世紀の修徳書『キリストのまねび』

【神学・哲学・神秘主義 ー宗教改革、フランスの神学ー】

- ルター、Lassenius, Johannes(1636-1692)、Kortholt, Christian(1633-1694)、Masius, Hector Gottfried (1653-1709)らプロテスタントの神学者、ドイツの折衷主義者カリクストス(1586-1656)、及び旧教の擁護者らによる宗教改革に関する多数の著作
- 17世紀フランスの宗教、思想に大きな影響を及ぼしたジャンセニスムの神学者アントワーヌ・アルノー(1612-1694)
- フランスの宗教史家で、近代的な批判精神を用いて論述した最初期の歴史学者の一人、セバスチャン・ル・ナン・ド・チュモン(1637-1698)
- 新プラトン主義的なキリスト教思想を説いて後の神秘主義思想に強い影響を与えた5-6世紀のギリシア人、偽ディオニシウス・アレオパギタ
- フランスの占星学者、医者ノストラダムス(1503-1566)の『予言集』
- 旧来の宗教組織を批判してスコットランドを中心に広く信奉者を集めたものの、死後に教会に弾劾された女性の神秘主義者 Bourignon, Antoinette(1616-1680)

【文芸 ー古典古代、中世、ルネサンス、バロックー】

- プラトンの『国家』をはじめ、ジャン・ボダンの『国家論』、マキャベッリ、ジョヴァンニ・ボテロ(16世紀末の'raison d'Etat'の主導的理論家)らイタリアの著作家の仏語訳などの、フランス絶対王政の理論的支柱となった書籍
- クロムウェル政権を批判してミルトンと論争した古典学者サルマシウス(1588-1653)
- ギョーム・ビュデ(1468-1540)、ロベール・ガガン(1433-1501)、ピエール・ド・ラ・ラメ(ペトルス・ラムス、1515-1572)ら、ルネサンス期フランスの代表的な人文主義者
- 印刷出版業エティエンヌ一族のアンリ・エティエンヌ(1531-1598)、著述家フランソワ・ド・ベルフォレ(1530-1583)、言語学者ジル・メナージュらフランスの人文主義者
- ロンサール(1524-1585)、ジョアシャン・デュ・ベレー(1522?-1560)らフランスのプレイヤッド派の詩人
- ラシーヌ、コルネーユらフランス古典主義の劇作家
- フランス語の百科事典Bibliothèque universelle et historique(1686-93) ※一部のVolumeを収録
- 17世紀から18世紀にフランスで流行した妖精物語の代表的作家、ドーノワ夫人(1650?-1705)
- イタリア・バロックの大詩人トルクァート・タッソの『詩法論』(1587)
- オランダの詩人・劇作家フォンデル、喜劇作家ブレードロ(1585-1618)ら
- セルバンテス、ロペ・デ・ベガ、カルデロン・デ・ラ・バルカからスペイン黄金世紀の小説・劇作家
- ボッカッチョ、ペトラルカ、エラスムスら、全欧に影響を及ぼした人文主義者
- イタリア・ルネサンス期の人文主義者
- ホメロス、アリストファネス、エウクレイデス、オウィディウス、ウェルギリウス、ホラティウス、キケロ、セネカ、イソップ、詩人ルキリウス、ルカヌス、ユウェナリス、マルティアリス、喜劇作家プラウトゥスら古典古代の多数の著述家・作家

【自然科学 ー地理学、物理学、植物学、動物学ー】

- メルカトル世界図を考案したオランダの地理学者メルカトル(1512-1594) (図1)
- 悪魔研究、観相術から光学まで、様々な自然の理論を探究したイタリアの自然研究家ジャンバッティスタ・デッラ・ポルタ (1535?-1615) が、磁性やレンズに関する理論を展開した『自然魔術』(1560)
- ボイルの法則を再発見したフランスの物理学者マリオット (1620-1684)
- レオンハルト・フックス(1501-1566) (図2)、オットー・ブルンフェルス(1488-1534)、レンベルト・ドドエンス (1517-1585) ら初期の植物学者、発生学の祖アルドロバンディ(1522-1605)。
- コンラート・フォン・メゲンベルク(1309-1374)がドイツ語で著した自然誌 *Book of Nature* は版を重ねて広く読まれた。(図3)
- 牧畜、植物の移植、接ぎ木、採鉱、金細工、蒸留など、諸技術の解説書を兼ねた自然誌(1551)。 *Book of Nature* から転載した図版が多くみられる。(図4)

【地理的拡大】

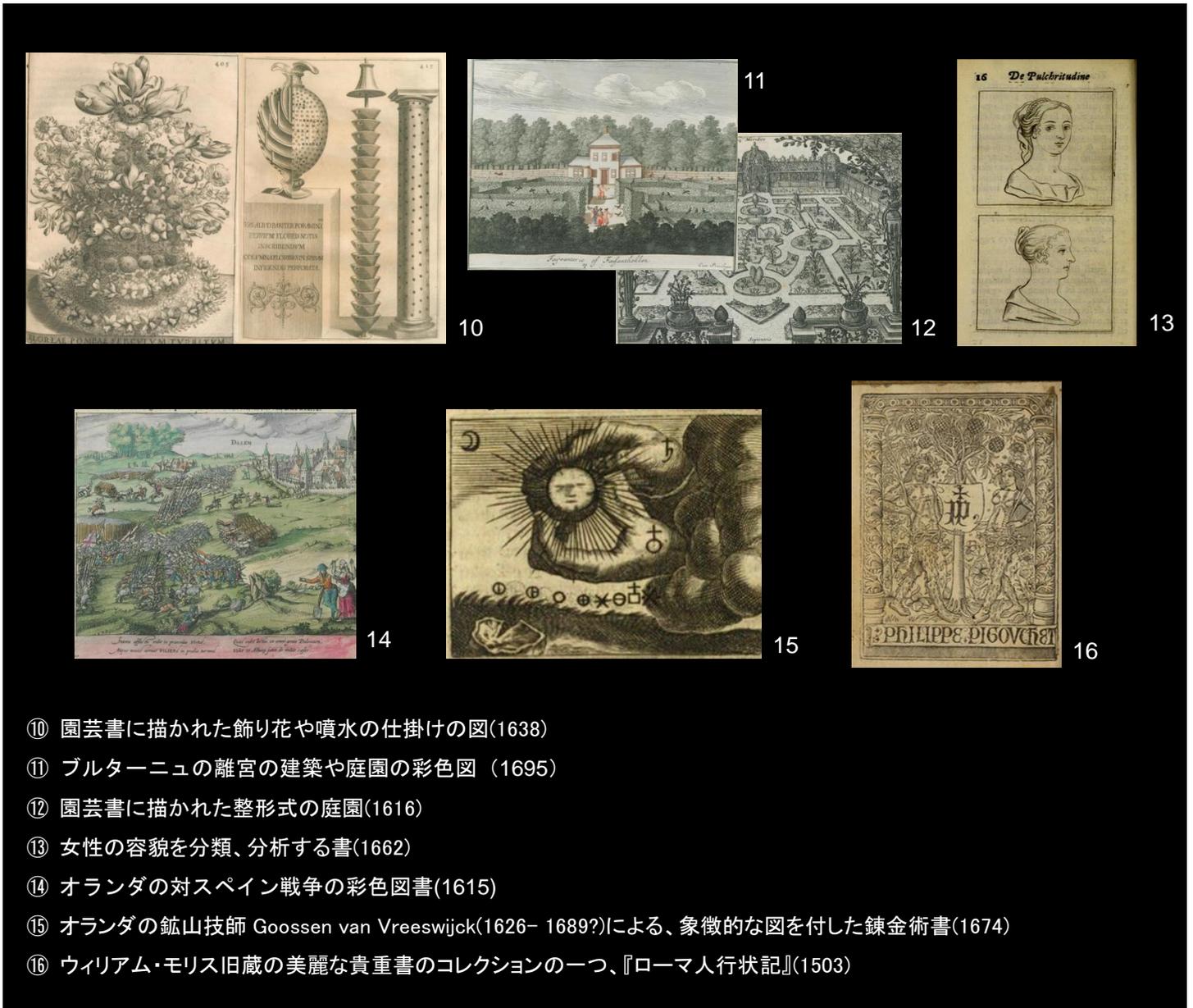
- 世界を周航してオランダ帝国を拡大したファン=ノールト (1558?-1627) の挿し絵入りの旅行記(1618)など、17世紀にアムステルダムで出版された多数の地誌 (図5、6、7)
- 1697年刊行のマタイ福音書に付された聖地の詳細な地図 (図8)
- 日本を訪れた使節や宣教師の報告をオランダの牧師モンタヌスがまとめた『モンタヌス日本誌』(1669)。想像に基づく記述も多いが、各国語に翻訳されて広く読まれた。(図9)



- ① メルカトルによる世界地図
- ② レンベルト・ドドエンスの植物誌
- ③ *Book of Nature*(1536)
- ④ *Book of Nature* から転載した図版が多くみられる自然誌(1551)。挿木の解説図
- ⑤ 諸国の食事の様子 (1617)
- ⑥ ファン=ノールトの旅行記(1618)
- ⑦ ギニア誌(1650)
- ⑧ エルサレムおよびその近郊の地図(1697)
- ⑨ 『モンタヌス日本誌』に描かれた日本(1669)

【その他】

- 建築、園芸、造園、錬金術、歴史、芸術など様々な分野に関する、豊富な図版付きの書
- ウィリアム・モリス旧蔵の美しい図版・装丁のコレクション（ウェルカム図書館蔵）
- 特定の分野に関する法律書（契約・封土等）、地方ごとの慣行を反映した異版、解説付きの法律の要約書など



- ⑩ 園芸書に描かれた飾り花や噴水の仕掛けの図(1638)
- ⑪ ブルターニュの離宮の建築や庭園の彩色図（1695）
- ⑫ 園芸書に描かれた整形式の庭園(1616)
- ⑬ 女性の容貌を分類、分析する書(1662)
- ⑭ オランダの対スペイン戦争の彩色図書(1615)
- ⑮ オランダの鉱山技師 Goossen van Vreeswijck(1626- 1689?)による、象徴的な図を付した錬金術書(1674)
- ⑯ ウィリアム・モリス旧蔵の美しい貴重書のコレクションの一つ、『ローマ人行状記』(1503)

フランス国立図書館提供資料のオープンアクセスについて

フランス国立図書館は、同館が Early European Books(EEB)に提供した資料のイメージデータを、EEB 上でのリリースから 10 年後に、同館のサイト上で全世界に公開する権利を有します。

コレクション 4 におけるフランス国立図書館提供の資料は全体の約 15%です。これらは 2024 年以降に同館のサイト上で公開される場合があります。

補足 1* オランダ国立図書館、ウェルカム図書館、フィレンツェ国立中央図書館、デンマーク王立図書館の所蔵資料のデータは館外には公開されません。

補足 2* いずれの図書館の所蔵資料についても、EEB の書誌データ（メタデータ、有料 MARC レコードなど）は EEB 上でのみ提供されます。

補足 3* EEB に提供したコンテンツをどのような形で公開するかは、フランス国立図書館の運用に委ねられており、弊社からはご案内ができません。

詳細は、別途資料をご請求ください。